

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公表番号】特表 2019-504987 (P2019-504987A)

【公表日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2018-534676 (P2018-534676)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/531 (2006.01)

C 0 7 K 1/34 (2006.01)

C 0 7 K 1/30 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/531 A

C 0 7 K 1/34

C 0 7 K 1/30

C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 16 日 (2019.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液であって、非組み換えヒト I G F 結合タンパク質 - 3 (n r - I G F B P - 3) を、1 ミリリットル当たり 1 6 マイクログラム (μ g / m L) ~ 4 0 μ g / m L の範囲の n r - I G F B P - 3 濃度を有する水性緩衝媒体中に、含有するヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液。

【請求項 2】

前記 n r - I G F B P - 3 濃度が 2 0 μ g / m L ~ 3 0 μ g / m L の範囲内である、請求項 1 に記載のヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液を含む較正標準のセットであって、該セットの各々の較正標準が異なる n r - I G F B P - 3 濃度を有し、該セットにおける該較正標準の異なる n r - I G F B P - 3 濃度が 0 . 5 μ g / m L ~ 1 6 μ g / m L の範囲である、較正標準のセット。

【請求項 4】

組み換え I G F 結合タンパク質を含まない、請求項 1 に記載のヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液。

【請求項 5】

前記 n r - I G F B P - 3 の水性緩衝媒体が組み換え I G F B P - 3 を含まない、請求項 1 に記載のヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液。

【請求項 6】

I G F B P - 3 被検体の免疫測定用の較正物質のセットであって、該セットの各々の較正物質がヒト血清希釈剤で希釈された請求項 1 に記載のヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液を含み、該セットの該較正物質の n r - I G F B P - 3 濃度が異なり、該異なる n

r - I G F B P - 3 濃度が患者試料中の I G F B P - 3 被検体レベルの推測される範囲に亘るように構成される、校正物質のセット。

【請求項 7】

前記ヒト血清希釈剤が、I G F 結合タンパク質を実質的に含まない、酸処理し活性炭吸着したヒト血清である、請求項 6 に記載の校正物質のセット。

【請求項 8】

ヒトインスリン様成長因子 (I G F) 結合タンパク質用の校正物質のセットを含むキットであって、該セットの各々の校正物質が非組み換えヒト I G F 結合タンパク質 3 (n r - I G F B P - 3) を含有する水溶液を含み、該セットの各々の校正物質の n r - I G F B P - 3 濃度が異なり、該セットにおける該異なる n r - I G F B P - 3 濃度が 0.5 マイクログラム毎ミリリットル ($\mu\text{g}/\text{mL}$) $\sim 16 \mu\text{g}/\text{mL}$ の範囲内である、キット。

【請求項 9】

前記校正物質のセットにおいて前記異なる n r - I G F B P - 3 濃度の範囲が、患者試料中の I G F B P - 3 被検体及び I G F - 1 被検体の一方又は両方の推測される濃度範囲に亘るように構成され、前記セットの前記校正物質が、 $16 \mu\text{g}/\text{mL} \sim 40 \mu\text{g}/\text{mL}$ の範囲の n r - I G F B P - 3 濃度を有するヒト I G F 結合タンパク質ストック溶液の異なる希釈物である、請求項 8 に記載のキット。

【請求項 10】

前記セットの各々の校正物質が、更に、ヒト血清希釈剤を含み、該ヒト血清希釈剤が、I G F 結合タンパク質を実質的に含まない、酸処理し活性炭吸着したヒト血清を含有し、該ヒト血清希釈剤が、前記 n r - I G F B P - 3 を種々の n r - I G F B P - 3 濃度の範囲に希釈するように構成される量である、請求項 8 に記載のキット。

【請求項 11】

前記校正物質のセットが組み換えヒト I G F 結合タンパク質を含まない、請求項 8 に記載のキット。

【請求項 12】

非組み換えヒトインスリン様成長因子 (I G F) 結合タンパク質 3 (n r - I G F B P - 3) の濃縮物を水溶液中で形成する方法であって、

ヒト血清及び該ヒト血清由来の I G F 結合タンパク質の一方の水溶液を多孔質マトリックスと接触させること；及び

水溶液中の濃縮された n r - I G F B P - 3 を前記多孔質マトリックスから回収すること、を含み、

水溶液中の回収された n r - I G F B P - 3 がミリリットル当たり 16 マイクログラム ($\mu\text{g}/\text{mL}$) $\sim 40 \mu\text{g}/\text{mL}$ の範囲内の濃度を有するものである、方法。

【請求項 13】

前記多孔質マトリックスが限外濾過ディスク、濾過膜及びセファローズ系樹脂の 1 つ以上である、請求項 12 に記載の n r - I G F B P - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 14】

更に、前記ヒト血清の水溶液を準備することを含み、

ここで、該ヒト血清の水溶液が、ヒト血清を第 1 の緩衝溶液と混合することによって準備され、

前記ヒト血清の水溶液と前記多孔質マトリックスとを接触させることが、

前記第 1 の緩衝溶液中の前記ヒト血清を、第 2 の緩衝溶液で平衡化したセファローズ系樹脂を含むクロマトグラフィーカラムに適用して、n r - I G F B P - 3 を前記ヒト血清中の他の血清タンパク質から分離すること；

前記セファローズ系樹脂から前記 n r - I G F B P - 3 を第 3 の緩衝溶液で溶出させること；及び

前記第 3 の緩衝溶液中の溶出された前記 n r - I G F B P - 3 を、交換緩衝液を用いて濾過膜に適用し、水溶液中の前記 n r - I G F B P - 3 を緩衝液交換及び濃縮すること；を含む、請求項 12 に記載の n r - I G F B P - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 15】

更に、前記 IGF 結合タンパク質の水溶液を準備することを含む請求項 12 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法であって、

ここで、該 IGF 結合タンパク質の水溶液が

前記ヒト血清と飽和抗カオトロピック塩溶液とを混合して、混合物を形成すること；

前記 IGF 結合タンパク質を前記混合物から単離すること；及び

単離した IGF 結合タンパク質を緩衝溶液中で再構成すること；

によって、準備され、

前記 IGF 結合タンパク質の水溶液と前記多孔質マトリックスとを接触させることが、緩衝溶液中の再構成された IGF 結合タンパク質を、濾過膜及び限外濾過ディスクの一方又は両方に交換緩衝液を用いて適用し、水溶液中の nr - IGFBP - 3 を緩衝液交換及び濃縮することを含む、nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 16】

前記飽和抗カオトロピック塩溶液が水中の抗カオトロピック硫酸塩を含有する請求項 15 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 17】

前記飽和抗カオトロピック塩溶液がリン酸ナトリウム溶液中の硫酸アンモニウム塩を含有する請求項 15 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 18】

ヒト血清及び該ヒト血清由来の IGF 結合タンパク質の一方の水溶液と多孔質マトリックスとを接触させることが、緩衝液交換溶液を用いたタンジェンシャルフロー濾過を含む、請求項 12 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 19】

更に、前記濃縮 nr - IGFBP - 3 溶液を用いて較正物質のセットを調製することを含み、該セットの各々の較正物質における前記 nr - IGFBP - 3 の濃度が異なり、該セットにおける種々の nr - IGFBP - 3 濃度が $0.5 \mu\text{g/mL} \sim 16 \mu\text{g/mL}$ の範囲内であり、該較正物質のセットが患者試料中の IGFBP - 3 及び IGF - 1 の一方又は両方の測定を較正するように構成される、請求項 12 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

【請求項 20】

前記較正物質のセットを調製することが、前記濃縮 nr - IGFBP - 3 溶液を、IGF 結合タンパク質を実質的に含まない、酸処理し活性炭吸着したヒト血清希釈剤の種々の量で希釈することを含む、請求項 19 に記載の nr - IGFBP - 3 濃縮物を形成する方法。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2019504987A5	公开(公告)日	2020-01-30
申请号	JP2018534676	申请日	2016-12-28
[标]申请(专利权)人(译)	西门子医疗保健诊断公司		
申请(专利权)人(译)	西门子医疗诊断公司		
[标]发明人	リンスペンサー オサエクワボンクワシ クライシオマー シンハシーマ スミスミシエル ディフランチエスコサンレイ スピアーズライアン ラワルダーリニ ホヴァネクバーンズデブラ オーウェンズロバート		
发明人	リン,スペンサー オサエ-クワボン,クワシ クライシ,オマー シンハ,シーマ スミス,ミシエル ディフランチエスコ,サンレイ スピアーズ,ライアン ラワル,ダーリニ ホヴァネク-バーンズ,デブラ オーウェンズ,ロバート		
IPC分类号	G01N33/531 C07K1/34 C07K1/30 C07K14/47		
CPC分类号	H04W8/005 H04W24/02 H04W84/18 A61K38/1754 H04B7/0617 H04L41/0806 H04W72/046		
FI分类号	G01N33/531.A C07K1/34 C07K1/30 C07K14/47		
F-TERM分类号	4H045/AA20 4H045/AA30 4H045/BA10 4H045/CA42 4H045/EA50 4H045/FA71 4H045/GA06 4H045/GA10		
代理人(译)	山口岩 山本浩		
优先权	62/274115 2015-12-31 US		
其他公开文献	JP2019504987A		

摘要(译)

在一个实施例中，一种方法包括：访问在稳态操作的一段时间期间记录的多跳无线网络的多网络节点中的每个的稳态操作参数，识别多个第一网络节点和多个第二网络节点。网络节点，其中每个第一网络节点被确定为需要计划的重置，并且其中每个第二网络节点先前分别与一个或多个第一网络节点建立了一个或多个无线连接，从而调整每个网络节点的操作设置 分别在一对或多对第二网络节点之间建立一个或多个临时无线连接，重置每个第一网络节点，基于稳态操作调整每个第二网络节点的操作设置 参数以重新建立与第一网络节点的一个或多个先前建立的无线连接。

